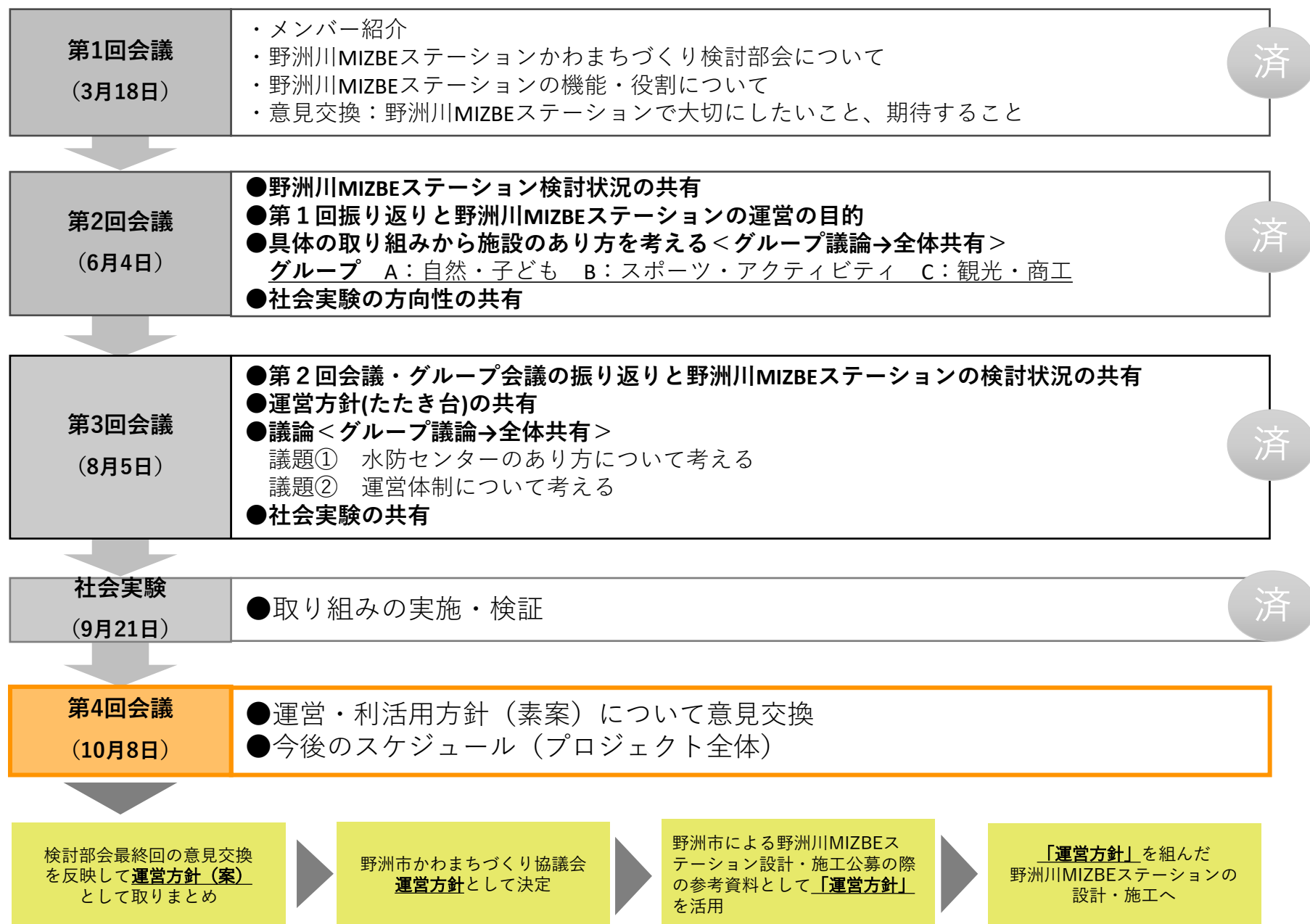


第4回 検討部会

資料1 検討部会のスケジュールと主な議題



(1) 水防センターについて

利活用についてのアイデア

- ・多様な世代、属性が交流できる
- ・犬も一緒に利用できる
- ・ネーミングを公募していろんな関わりをつくる
- ・気軽につながれるコワーキングスペース・シェアオフィス
- ・リユース品、本・物・衣服を自由に置いていき持って帰れるコーナー
- ・ダンス・書道・そろばん・体操教室のような室内でする教室がある
- ・子どもから安心して目を離せる（お母さんが子どもから離れて少し休憩できる機能）
- ・子どもたちが料理体験できる
- ・パーティーや夜の利用

運営についてのアイデア

- ・カフェはフードコートのような形で、休みたい人も使えるスペースに
- ・有料区画と無料区画で分ける
- ・野火など対応できる、即持ち出しできる消火器がある
- ・ちょっとした休憩スペースで気楽に来られる
- ・シェアキッチンにする
- ・応急処置できる救急箱的な資材、消毒液、包帯など、ケガに対応できる

空間についてのアイデア

- ・広い屋内がある
- ・ネット環境が整備されている
- ・コワーキングスペース
- ・工作・作業ができるテーブル
- ・本が置いてある読書スペース
- ・販売スペースがある
- ・ダンスレッスンができる鏡のある部屋がある
- ・授乳スペースやおむつ替えスペース、キッズスペースがあるといいな
- ・自由に使えるキッチン、キャンプ用品、BBQ機材、かまどがある
- ・くつを脱いで上がれるスペースがある ・ハンモックに乗れる
- ・植物がいっぱいの空間
- ・川や夕陽を眺められるなど、景色を強みにする
- ・可動式のテラス屋根
- ・窓に向けたカウンター
- ・ガラスの引き戸をオープンにできて外とつながる
- ・オープンなスペース、可動壁で自由に仕切れる、いろんな空間の使い方ができる
- ・ライトに交流できる席がある、ちょっとした会議ができる
- ・空調が効きやすい
- ・ゆったり滞在したくなるソファ席がある
- ・水防資材置き場など平常時利用しない設備は、間取りに影響しないよう外側につける
- ・スポーツ利用の際に、トイレが外からも使えると便利（安全性も重要）
- ・シャワールームを設けるのではなく、外の壁面にシャワーか足洗い場がついている
- ・サインやアイコン（「〇〇室」）もきちんとデザインされている
- ・インパクトのある建築にする

カフェ・飲食機能についてのアイデア

- ・野洲ならではのメニューが楽しめる
- ・カフェはフードコートのような形で、休みたい人も使えるスペースに
- ・有料区画はお金を払っても行きたくなるようなこだわりのある空間になっている
- ・ピクニックセットをテイクアウトして芝生広場で食べる
- ・独自の魅力を持っていて、場所に寄らず集客できるような飲食店に入ってもら
- ・窓から野洲川の景色が見えるテラス席があると嬉しい
- ・ちょっとした休憩スペースで気楽に来られる
- ・休憩などで5～6人囲めるテーブル・椅子
- ・テイクアウト屋内型。シェアキッチンにする
- ・窓に向けたカウンター

(2) 運営体制について

- ・図書館にある市民協働室をMIZBEステーションにおく
- ・施設の日程調整がしやすい申込システム
- ・+αを生むコーディネーターまで指定管理で担える ・行政組織の中にもコーディネーターをおく ・職員PTが継続的に関わる
- ・民間も一緒に乗っていける（真剣さ、楽しさ） ・市・高専・一国の連携
- ・コーディネーターを置くとすると推進力のある指定管理事業者の場合はうまく機能が働くか
- ・年末年始などニーズのあるときにオープンする企画・しかけをコアチームで作っていく
- ・週に何日か教員籍の職員をおいてほしい
- ・「〇〇な使い方ができる日」など予約で埋まっていない自由・フリーな日があること

1. 水防センター

利活用アイデア	設備など	ハードル・課題
・市民団体打ち合わせ場所につかえる ・食器など無償Reuse品陳列配布	敷地緑地整備道具を保管できる倉庫 作業台・竹細工、木工ができるテーブル 水遊び後の着替え場所、シャワー、AED器具、担架、携帯消火器 発電機、井戸水、カマドなど防災設備	

2. 水辺と森の学びエリア

利活用アイデア	設備など	ハードル・課題
・自然観察に関して水中の生物相へも目を向ける ・水生生物調査・水質調査：小・中学生を対象に、年に数回の調査で、上流域や下流域、琵琶湖と比較することで環境について学べる ・河辺のごみ回収大会　・十本木広場に空中回廊	魚道の整備：アユの遡上 水遊び後の着替え場所、シャワーがある 広場でグループで遊べる遊具がある 捕獲した魚を観察できる水槽がある（最後は放流できる仕様） 竹林の中に金網で保護したカブトムシ繁殖エリアがある 適度な緑陰があり、ベンチもある	指導は誰がするか

3. 全天候型アーバンスポーツエリア

利活用アイデア	設備など	ハードル・課題
・チームビルド（企業研修）の場として ・〔施設管理・安全管理〕水道設備の充実 ・リハビリ歩行用の通路の設置（グラウンドまたは芝エリアを歩く）	「チャンバラ合戦」「サバイバルゲーム」「スポーツ鬼ごっこ」等 芝への散水や熱中症対策（アイスパス等） 管理道路側に手すりを設置 スケートボード場のトリック用具は移動可能 バスケットボールゴール・コートも移動式(フルコート2面分) 陸上オールウェザー直走路＋幅跳び＋走高跳程度の練習機能がある 陸上練習器具等を保管できる倉庫 複数競技を同時に使用できる安全面に配慮した可動式の仕切りがある スクールやイベントやナイター料金の有料事業を見据えたスキーム 観覧席(移動式や段差を利用したもの)がある　雷等の避難機能	研修企業とのタイアップや道具等の準備・管理・費用対効果 設計上・予算上の課題 他の用途と兼ね合いが必要

4. スポーツ・賑わいグラウンドエリア

利活用アイデア	設備など	ハードル・課題
・テニスコート（ハードコート）2面設置 ・夏場など快適に過ごせる環境設備追加 ・健康遊具の設置 ・大規模音楽フェス（若者がよろこぶ”アニソン”など） ・市民大運動会	ライン・ボール・間仕切ネット ミストシャワー(滑車等で下げ降ろし・脱着可能なもの)・・・メンテナンスフリー 健康遊具を施設のサイド(外縁)側に スクールやイベントやナイター料金の有料事業を見据えたスキーム サッカーゴール多種（一般・こども・ミニゴール等） 着替えやロッカーが必要	施設内レイアウト調整 設計上・予算上の課題 施設内レイアウト調整 予算上の課題 刈った芝を処理する仕組み→堆積堆肥にして森に還元

5. 緑と土の体験学習エリア

利活用アイデア

- ・ミニ三上山等を使った坂道トレーニング
- ・御上神社の分祀（ミニ三上山にちなみ）
- ・野洲川河川公園から河川エリアをウォーキング（またはランニング）
…野洲川河川公園だけでも国道から旧三共製薬付近まで約2.4kmの距離がある。
- ・防災体験：災時のごみ問題、簡易トイレの作成、火起こし
- ・高所作業車などの重機やビワエンなどとのコラボレーション

設備など

- ミニ三上山等
（階段状の設備があるとなお良い）
- 分祠の設置
- 道中の整備や案内表示・導線が必要
（汚染土の除去工事終了後）
- 滑り台

ハードル・課題

- メニュー設定や記録方法等のルールが必要
- 神社の協力
- 河川域の利用として可能か確認が必要

6. 環境保全・共生エリア

利活用アイデア

- ・昆虫、動物、野鳥、水生生物などの観察
- ・昆虫（ベイトなど）や動物（カメラ）などのトラップを仕掛ける
- ・水の中をのぞいてみる（水中眼鏡）
- ・生き物図鑑の作成：草本・木本・昆虫・動物など、多様な生物についての生き物調査

設備など

- ゴミステーション的ゴミ保管場所（カラス被害防止）
- 常時自由に安全に訪問できる散策路、観察路

ハードル・課題

- 専門性が高くなるため、指導者の確保（高専に人材は？）
- 自然豊かな森を次世代につなげる森の保全体制
- 旧堤防法面に大量の埋設ゴミ

その他

利活用アイデア

- ・マスコットキャラ（イメージキャラクター）
- ・戦隊：歌などで防災意識の向上、他のレンジャーとのコラボ
- ・自転車道：パークから直接自転車道につなげる。自転車やボード、インラインなど長距離でのランができると楽しいのでは？

設備など

- プログラムに必要な設備の保管場所が必要

ハードル・課題

- 人の往来がある中で安全面の確保（事例：東京都小金井公園）
- 危機管理：プログラム中の事故、ケガ、病気など、プログラムの募集や日程調整、対象、大人にも必要がある内容
- プログラムを行う主体は誰が担うのか：外部委託or職員（常駐or派遣？）